

製品安全データシート(SDS)

[混合物用(塗料用)]

1.製品及び会社情報

製品名	ガイナ
会社名	株式会社日進産業
住所	東京都板橋区蓮根3-1-15
担当部門	技術開発部
電話番号	03-5916-4451
FAX番号	03-6454-9731
緊急連絡先	03-5916-4451

2.危険有害性の要約

[GHS分類]

急性毒性(経口)	区分5
急性毒性(経皮)	区分外
急性毒性(吸入・蒸気)	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	区分外
眼に対する重篤な損傷性・眼刺激性	区分外
呼吸器感作性又は皮膚感作性	区分外
生殖細胞変異原性	区分外
発がん性	区分2
生殖毒性	区分1B
特定標的臓器/全身毒性(単回暴露)	区分1
特定標的臓器/全身毒性(反復暴露)	区分1
吸引性呼吸器有害性	分類できない
水生環境有害性・急性	区分3
水生環境有害性・慢性	区分4
オゾン層への有害性	分類できない

[GHSラベル要素]

注意喚起語 : 危険



[危険有害性情報]

: 飲み込むと有害のおそれ。
 : 発がんの恐れが疑い。
 : 生殖能または胎児への悪影響のおそれ。
 : 臓器の障害(中枢神経系、腎臓、心臓、呼吸器)。
 : 長期または反復暴露による臓器の障害(中枢神経系、心臓、呼吸器)。
 : 水生生物に有害。
 : 長期的影響により有害のおそれ。

安全対策

: 使用前に取り扱い説明書を手にする。
 : 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
 : 必要に応じて個人用保護具を使用すること。
 : 粉塵、煙り、ガス、ミスト、蒸気、スプレー等を吸入しないこと。
 : 取り扱い後はよく手を洗うこと。

応急処置

: 吸入した場合、気分が悪い時は、医師に連絡すること。
 : 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。
 : 眼に入った場合、水で数分間洗い流すこと。
 : 眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。
 : 暴露した場合、医師に連絡すること。

- 保管 : 湿気、直射日光を避け、容器を密閉して換気の良い冷暗所に施錠して保管すること。
- 廃棄 : 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物業者に業務委託すること。

3.組成、成分情報

成分及び含有量(危険有害物質を対象)

成分名	CAS No.	含有量wt%	PRTR	労安法
アクリルシリコン樹脂		20～25		
非結晶性シリカ	7631-86-9	1～5		
二酸化チタン	13463-67-7	5～10		191号
ホワイトスピリット (ミネラルスピリット)	64742-47-8	1～2		551号
エチレングリコール	107-21-1	1～5		75号
セラミックビーズ	7631-86-9、1344-28-1	10～15		
水		40～45		
その他		5～10		

4.応急処置

- 吸入した場合 : 蒸気、ガスなどを吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 皮膚に付着した場合 : 付着物を布で素早く拭き取る。
: 大量の水及び石鹼又は皮膚用の洗剤で十分に洗い落とす。
: 溶剤、シンナーは使用しない。
: 外観に変化や痛みがある場合、SDSを提示して医師の診断を受ける。
- 眼に入った場合 : 直ちに、全ての汚染された衣類を取り除く。
: 直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。
: コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
: まぶたの裏まで完全に洗うこと。
- 飲み込んだ場合 : 誤って飲み込んだ場合安静にし直ちにSDSを提示し医師の診断を受ける。
- 応急処置をする者の保護 : 適切な保護具(保護メガネ、保護マスク、手袋等)を着用する。

5.火災時の処置

- 使用可能な消火剤 : 消火薬剤、二酸化炭素、砂、霧状水が有効である。
- 使用してはならない消火剤 : 知見なし
- 消火方法 : 周辺火災に対応して、消火活動を行うこと。

6.漏出時の処置

- 人体に対する注意事項 : 作業の際には適切な保護具(保護メガネ、保護マスク、手袋等)を着用する。
- 保護具及び緊急時措置 : 周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。
: 付近の着火源、高温体及び付近の可燃物を素早く取り除く。
: 着火した場合に備えて適切な消火器を準備する。

環境に対する注意事項
封じ込め及び浄化の方法、機材

- : 河川等へ排出され環境への影響を起こさないよう注意する。
- : 漏出物は密閉出来る容器に回収し安全な場所に移す。
- : 付着物、廃棄物等は関係法規に基づいて処置する。
- : スコップ、ウエス等で回収する。大量の流出には盛り土などで流出を防ぐ。水での洗浄なども、河川等への排出、環境汚染を引き起こす恐れもあり注意する。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い

- : 換気の良い場所で取り扱い容器はその都度密栓する。
- : 容器はその都度密栓する。
- : 皮膚、粘膜又は着衣に触れたり眼に入らぬように適切な保護具を着用する。
- : 取り扱い後は手、顔をよく洗い休憩所などに汚染した保護具を持ち込まない。

保管

- : 密閉場所での作業は十分な局所換気装置を付け適切な保護具を着用する。
- : 日光の直射を避ける。
- : 通風の良い所に保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

酸化チタン

管理濃度
許容濃度

未設定
日本産衛学会
1mg/m³
4mg/m³(総粉塵として)
ACGIH TLV-TWA 10mg/m³

ミネラルスプリット

管理濃度
許容濃度

未設定
日本産衛学会
未設定
ACGIH
未設定

エチレングリコール

管理濃度
許容濃度

未設定
日本産衛学会
未設定
ACGIH TLV 天井値 100mg/m³

設備対策

- : 屋内塗装の場合、自動塗装機を使用する等、作業者が直接暴露されない設備にするか、局所排気装置により作業者が暴露から避けられるようにする。
- : タンク内部等の密閉場所で作業する場合、底部まで十分に換気出来る装置を取り付ける。
- : 装置は耐腐食性のある材質を用いて作ること。
- : 腐食性物質に作業者が直接接触したり暴露されない設備にする。
- : 長時間取り扱う場合、給排気が十分に取れ暴露を受けない設備にする。

呼吸系の保護具

- : 有毒ガス用防毒マスクを着用する。
- : 密閉された場所では送気マスクを着用する。

手の保護具

- : 有機溶剤または化学製品が浸透しない材質の手袋を着用する。

眼の保護具

- : 保護メガネを着用する。

皮膚及び身体の保護

- : 取り扱う場合には、皮膚を直接曝さないような衣類を付けること。また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

9.物理的及び化学的物質

物理的状态

状態	:液体	色	:白色	臭気	:アクリル臭
pH	:7.5~10			密度	:0.72~0.78
融点・凝固点	:情報なし			沸点	:100°C
爆発限界	:情報なし			引火点	:なし
蒸気圧	:情報なし				
自然発火温度	:情報なし				
臭いの数値	:情報なし			燃焼性(固体・ガス)	:情報なし
溶解度	:水(混和)				

10.安定性及び反応性

安定性

条件(温度・光等)	:標準的な条件では反応しない。
混触危険物質	:情報を有していない。
危険有害な分解生成物	:情報を有していない。
その他の危険性情報	:この製品を含んだ布、紙、ハケ、ローラー、ダスト等を堆積したり丸めたまま放置しないこと。

11.有害性情報

物質名				
二酸化チタン	急性毒性	経口 経皮 吸入(蒸気)	ラット ウサギ	LD50>10000mg/kg LD50>10000mg/kg 情報がないため分類できない
ホワイトスピリット (ミネラルスピリット)	急性毒性	経口 経皮 吸入(蒸気)	ラット	LD50>15000mg/kg データなし データなし
エチレングリコール	急性毒性	経口 経皮 吸入(蒸気)	ラット ラット	LD50=4000~10200mg/kg LD50=10600mg/kg データなし

12.環境影響情報

:漏洩、廃棄の際、環境に影響を与える恐れがあるので、取り扱いに注意。
特に製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

生殖毒性	:情報を有していない。
残留性・分解性	:情報を有していない。
生態蓄積性	:情報を有していない。
土壤中の移動性	:情報を有していない。

13.廃棄上の注意

残余廃棄物	:塗料・容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と契約して処理する。 :容器・機器装置等を洗浄した排水等は地面や排水溝へそのまま流さない。 :排水処理・焼却等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、及び関係する法規に従って処理するか、業者に委託する。
汚染容器	:空容器は内容物を完全に除去してから処分する。 :許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理する。

14.輸送上の注意

:取り扱い及び保管上の注意の項の記載に従う。
:転倒、落下、損傷がないように積み込み、崩れ防止を行うこと。

国内規制
陸上輸送

:消防法、労働安全衛生法、毒劇物法 該当する場合、それぞれの該当法律に定められた運送方法に従う。

海上輸送
航空輸送

:船舶安全法に定めるところに従う。
:航空法に定めるところに従う。

国際海上危険物規則(IMDGコード)

国連番号 :非該当
国連輸送名 :非該当
国連分類 :非該当
容器等級 :非該当

15.主な適用法令

消防法 :非該当

労働安全衛生法 :名称を通知すべき有害物(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9)
(政令番号:第191号「酸化チタン(IV)」,第75号「エチレングリコール」)
(第551号「ミネラルスピリット」)

PRTR法(化管法) :非該当

16.その他の情報

主な引用文献 :日本塗料工業会編集(原材料物質データシート) (社)日本塗料工業会
:製品安全データシート・ガイドブック[混合物用(塗料用)] (社)日本塗料工業会
:有害物質データブック 丸善
:GHS 分類結果データベース (製品評価技術基盤機構 NITE)

注意 このデータシートは、一般的な工業的用途について、[製品の適切な取り扱い]確保するための参考情報として提供するもので、製造者の保証書ではありません。現時点で信頼し得ると考えられる資料並びに測定等に基づき作製したものであります。
ご需要家各位は、これを参考として自らの責任において個々の取り扱い等、実態に応じた適切な措置をお取り下さる様、お願い致します。